

因島南小は「思考力・判断力・表現力を育む」授業づくりを目指しています。児童が主体的に学び・考えたことを表現するために、児童が課題解決の見通しを持って思考するプロセスを大事にしています。

総合的な学習の時間

第3学年

目指す資質・能力 【知識】 【コミュニケーション能力】

## 「因島の特産物 ハッサク」

### 【単元の概要】

因島南地域が発祥の『ハッサク』についてその誕生の秘密について探求し、全国へと広まっていく様子について調べる学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断する資質や能力を育成する。

### ◆単元の目標

- ・因島の特産物である「ハッサク」についてその始まりや全国に広まっていった歴史について正しく理解する。
- ・自分が住んでいる因島をの地域の誇りとして好きになる。

### ◆単元の計画（全22時間）

学習過程	指導のポイント■ 各教科等との関連【】
【情報の収集（2時間）】 ・因島を代表する特産物について生活経験を元に意見を出し合う。	■自分たちの生活の中で、因島のまちじまん（農作物や特産物など）につながるものを話し合わせる。
【課題の設定（2時間）】 ・因島を代表する特産物の一つであるハッサクについて興味を持って調べてみたい課題を設定する。	■因島のハッサクがどうして有名になっていったのかを考えることで、課題を明らかにさせる。
【情報の収集（5時間）】 ・ハッサクの歴史・育て方や生産地の特徴について正しく理解するために、インターネットで調べる。	■ハッサクに因んだものが多くあることに気づき、様々な分野からハッサクについての情報を収集させる。 【道徳】郷土の農業の発展と文化・伝統を大切に、郷土に誇りを持ち、愛そうとする心情を育てる。
【情報の共有と整理（2時間）】 ・互いに調べた情報を発表し合い、共通の情報として共有して、必要な情報を分類・整理する。	■自分の課題に関する情報をペアやグループ内で報告し、全体で共有する情報について発表をさせる。
【情報の収集（2時間）】 ・ゲストティーチャーの話を聞き、ハッサクについて必要な情報についてメモを取る。	■自分の課題にかかわる情報を特にメモさせたり、新たな情報に関して質問したりさせる。 【国語】自分の課題に応じて調べたことなどが分かるようにメモやノートにまとめる。
【まとめ・表現（6時間）】 ・調べたことをハッサク新聞にまとめる。 ・将来の因島のハッサクについて想像し、自分の考えを新聞に書く。	■自ら設定した課題の解決策や未来のハッサクについて、新聞にまとめさせる。 【国語】調べたことをハッサク新聞に整理して、工夫して文章に書いたり、分かりやすく説明したりする。 【社会】農家の仕事の工夫や自分たちの生活との関わりを理解する。
【振り返り（3時間）】 ・ゲストティーチャーにお礼の手紙を書く。 ・郷土・因島に誇りを持って大切な伝統を受け継いでいこうとする。	■お礼の手紙を書き、自らの学びの高まりや因島への誇りについて振り返らせる。 【国語】聞き取ったことや感じたことを振り返りながら、お礼の手紙を書かせる。